

セキュリティ研究

May 2009 126

「正しく恐れる」ための情報提供とは
感染症情報国民コールセンター発足への取り組み 菅又昌実

デュアルユース研究と生物兵器禁止条約
四ノ宮成祥

市民原子力防災システムの具体化をどう進めていくか
森永晴彦

創業15年、監視カメラシステムから次の地平を目指す
ティービーアイ

倫理 & セキュリティ
Who will guard the guards, themselves?

Donofrio Steve

イベント・セキュリティ 西久保博信

SECURITY INDUSTRY WATCH

オブテックス / アクシスコミュニケーションズ / NTT アイティ
情報通信研究機構 / 総合警備保障 / 富士通研究所

時代の要請に応じて、情報安全管理士に新資格

空間情報セキュリティプランナー

特定非営利活動法人
日本情報安全管理協会

時代のニーズに応じて

日本情報安全管理協会では、情報管理の専門家を養成するという目的の下、情報安全管理士制度を立ち上げ、通信傍受対策部門において、通信傍受対策技士（Ⅱ種・Ⅰ種・特種・総合監理）を全国に排出し、「市民生活の安心と安全」「企業活動の安心と安全を」目指してまいりました。通信傍受対策が社会に認知されるようになる中で、「技術資格以外にも通信傍受対策を学べる場はないのか」との

ニーズが多数あり、もともと技術資格としての特色を持ち合わせていた通信傍受対策技士に対して、企業に所属するセキュリティ担当者の方や、IT関連の情報セキュリティのコンサルタントの方や、一般の方にわかりやすく通信傍受のリスクやその対策を伝えることを目的として掲げ、この度、「空間情報セキュリティプランナー」として新たな資格が誕生することになりました。

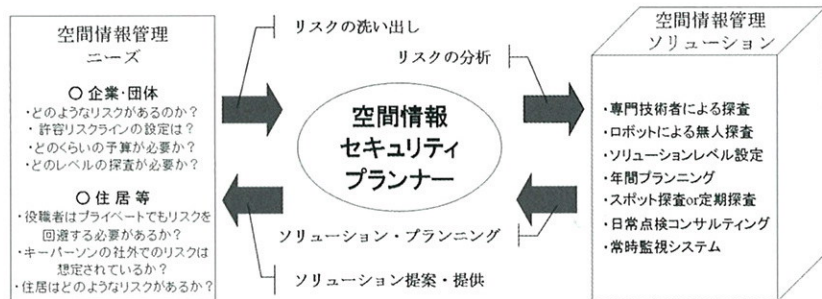
通信傍受対策（空間情報管理）分野の現状

そもそも日本においては通信傍受を起因とする情報漏洩について関心が高いとは言えません。情報セキュリティの1つの分野として議論がなされてこなかったということもあり、本分野では右記のようなさまざまな問題点を抱えているのが現状です。

- 通信傍受対策(盗聴対策)業者の多くが、危機管理意識が乏しく、通信傍受(盗聴)のリスクを十分に理解していない。
- 情報安全管理士有資格者以外の通信傍受対策業者の持つ技術スキルや知識水準は標準化されておらず玉石混交の状態である。
- 多くの通信傍受対策事業者は、顧客のニーズにマッチングしたサービス提供が出来ていない。
- 一般住居に関する業務については、弊協会相談窓口や消費生活センターなどに以下のような相談が寄せられているのが現状
「業者に高額請求されている」
「本当にしっかりと探査してくれているのか心配」
「信頼できる専門技術者を紹介してほしい」
「料金はいくら位が妥当なのか教えて欲しい」
- 企業や団体の場合、以下のような相談が弊協会窓口で寄せられているのが現状
「探査は実施したがこのレベルで十分であるのか？」
「日本の一般の業者の盗聴探査レベルで十分であるのか？」
「現状の世界標準の探査とはいかなるものか？」
「探査の必要性がある時期はいつであるのか？」
「知的所有権及び企業機密情報を保持している企業は、どのくらいのレベルの探査が必要なのか？」
「自社内で可能な対策はどのようなものか？」
「企業環境の変化(人事・組織変更等)に対応するため P(プライバシー)マーク取得企業などは年1回必ず探査をする必要があるか？」

空間情報セキュリティプランナーの役割

前述の問題点を解決すべく、空間情報セキュリティプランナーは、数多く研究・開発されている通信傍受対策、空間情報管理のソリューションについて真に理解し、一般化していくとともに、ニーズに対して最も適したセキュリティソリューションが提案できる人材として社会に認知されることを目的としています。



空間情報セキュリティを必要としている顧客（個人・法人）や、社内セキュリティの場合はその目的（許容リスクラインなど）によって、空間情報管理の手法は大きく変わりそれぞれのニーズにあわせてソリューションが実施されなければなりません。

そのようなニーズに対して、防犯、アナログ無線、デジタル無線、電力線、ビルメンテナンス体制、ビルの警備体制、インターネット通信、ゾーニング、ファイリング、その他通信について幅広い知識が必要とされます。また、状況に応じては、フィジカルセキュリティ・ITセキュリティの専門家などの協力を得ながらトータルな空間情報管理のプランニングをし、ニーズに対応していく必要があります。

また、そのような顧客へ対して正確なソリューションが提案できる人材がいま、日本においては求められています。

また、これまではこのような業務を、探査をする人間

が担っていた場合が多かった為に、どうしても一般的なセキュリティ概論として空間情報管理の重要性を伝達するのが難しかったという現状があった中で、今後専門業務として行うことになる空間情報セキュリティプランナーの責務は極めて重要と位置付けており、空間情報管理について最適な提案ができる人材として社会へ啓発活動をすすめるとともに、既存の情報安全管理士有資格者とともに「市民生活の安心と安全」「企業活動の安心と安全」を目指していきます。

空間情報セキュリティプランナー
養成講習・資格認定試験

養成講習・受験料 ¥52,500/1名
※テキスト代を含みます。合格後資格認定証発行手数料が別途必要となります。

| タイムテーブル | 午前 | 午後 |
|---------|----|------|
| 1日目(土) | 講習 | 講習 |
| 2日目(日) | 講習 | 筆記試験 |

※2日間で資格取得が可能です

日本情報安全管理協会の講習会・セミナー、認定サービス・推奨商品は、
日本情報安全管理士・資格教習所にお申込下さい。

全国情報安全管理士・資格教習所 取扱サービス・商品一覧

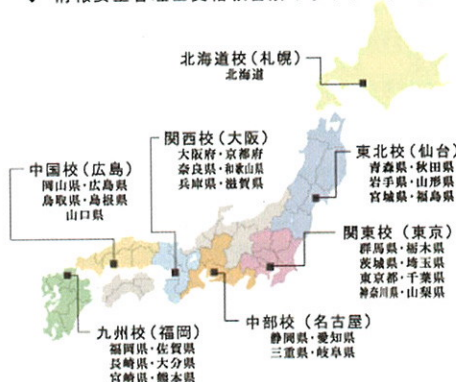
| 講習・セミナー | 概要 |
|---------------------|--|
| 通傍Ⅱ受験対策講座 総合コース | 情報安全管理士・通信傍受対策技士Ⅱ種の取得を目指す方の為の受験対策講座になります。4つのコースから自身にあったコースをお選びいただけます。 ¥105,000～ |
| 通傍Ⅱ受験対策講座 技能集中コース | |
| 通傍Ⅱ受験対策講座 学科集中コース | |
| 通傍Ⅱ受験対策講座 通信教育コース | |
| 通傍Ⅰ受験対策講座 総合コース | 情報安全管理士・通信傍受対策技士Ⅰ種の取得を目指す方の為の受験対策講座になります。3つのコースから自身にあったコースをお選びいただけます。 ¥126,000～ |
| 通傍Ⅰ受験対策講座 技能特別コース | |
| 通傍Ⅰ受験対策講座 学科特別コース | |
| 通傍Ⅱスキルアップ講座 | 情報安全管理士・通信傍受対策技士有資格者のためのスキルアップ講座です。 |
| 通傍Ⅱスキルアップ講座 | |
| 情報保全担当者養成講座 | 企業内における情報保全責任者養成講座です。 |
| 空間情報セキュリティプランナー養成講座 | 空間情報管理を最適にプランニングする人材育成 |
| 情報安全責任者養成講座 | 社内情報管理の意識を高めるための講座です |
| 企業音声情報ガイドラインセミナー | 音声情報管理のグローバルスタンダードを学びます。 |
| カード犯罪(スキミング)対策セミナー | カード犯罪の現状と対策を学びます。 |

| JILCoM 認証商品 | 概要 |
|-----------------------|-----------------------------|
| お部屋の安心検診 | お手軽検診キットでロボットが盗聴対策 ¥15,750～ |
| 携帯型盗聴発見機アールソナー | 誰でも手軽に自宅・事務所の盗聴点検 ¥19,740～ |
| スキミング防止財布「Card Guard」 | 特殊素材を使ったスキミング防止財布 ¥2,980～ |
| 情報安全管理室 (防音シールドルーム) | 1事務所に1室時代。空間情報漏洩防止した部屋 |

| JILCoM 推奨商品 | 概要 |
|-------------|-----------------------------|
| スムーズパス | IC乗車券の改札エラーを防止 ¥1,680 |
| シール de ロック | 1枚63円のシールでお手軽セキュリティ ¥1,260～ |

| JILCoM 発行書籍 | 概要 |
|--------------|-------------------------------|
| 盗聴防止対策白書 | 2007年より毎年発行。盗聴の現状がここに ¥12,600 |
| 企業音声情報ガイドライン | 企業はいかに音声情報資産を守るか ¥1,890 |
| 盗撮防止対策ガイドライン | 盗撮の防止に必要なのは施設管理者の協力 ¥1,890 |

◆ 情報安全管理士資格教習所ネットワーク ◆



全国教習所お問い合わせ先

| | |
|------|--------------|
| 北海道校 | 0134-29-5951 |
| 東北校 | 022-399-7801 |
| 関東校 | 03-5715-1248 |
| 中部校 | 052-739-3553 |
| 関西校 | 06-6498-9001 |
| 中国校 | 082-298-9110 |
| 九州校 | 092-781-9236 |

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : jilcom@aioros.ocn.ne.jp